

(ウ) 会議やミーティング

デジタル化によって大きく変化したのが、会議やミーティングの開催方法である。対面の会議・ミーティングに代わって、オンラインでの会議・ミーティングが多用されるようになった。

会議・ミーティングの形式

表9は、現在の会議・ミーティングの形式についての回答をまとめたものである。最も多いのは「オンラインを基本として、対面がときどき行われている」であり、平均値、各年代とも50%台半ばになっている。年代別の特徴としては、20歳代が「対面が基本だが、ときどきオンラインで行われている」が他の年代に比べてやや高くなっている点を挙げることができる。20歳代は仕事を覚える時期であり、上司や先輩から対面で指導を受けて学ぶことが多い。業務の内容によって異なることも考えられるが、対面重視の傾向が一部の職場にあることがうかがわれる。

表9 会議・ミーティングの形式 (%)

	平均値	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
ほとんど対面で行われている	2.1	3.3	2.8	0.5	1.4
対面が基本だが、ときどきオンラインで行われている	12.2	17.1	10.0	13.9	10.5
オンラインを基本として、対面がときどき行われている	56.5	53.9	57.8	56.0	56.6
ほとんどオンラインで行われている	29.2	25.7	29.4	29.7	31.5

情報共有

表10は「最もよく使われているツールによる情報共有についてどのようにお考えですか」という問いに対する回答を、年代別に集計したものである。オンラインによる会議・ミーティングが多用される中で、情報共有についてどのようにとらえているかを知ることができる。

約9割の回答者が、情報共有は基本的にできていると考えていることがわかる。ただ、年代別にみると、40歳代と50歳代は他の年代に比べて、不十分と考える人たちが15%弱とやや多い。どのような情報が共有できていないかについては、今回の調査から知ることはできないが、ある種のもどかしさを感じているようである。

表10 最も良く使われているツールによる情報共有について (%)

	平均値	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
十分できていると思う	27.7	37.5	30.4	21.1	19.6
だいたいできていると思う	60.4	52.0	59.3	64.6	66.4
不十分な場合がときどきある	10.7	9.2	9.0	12.9	14.0
不十分な場合がしばしばある	1.1	1.3	1.3	1.4	0.0

現在の会議・ミーティングのあり方について

表 11 は、「あなたは、現在の会議やミーティングの形式についてどのようにお考えですか」という問いに対する回答を、年代別にまとめたものである。平均値で最も多いのは「目的に合わせて対面とオンラインを使い分けるとした方がいいと思う」で 45.3%の回答者がこの選択肢を選んだ。年代別にみると、20 歳代は「現状のままでいいと思う」が最も多く、42.1%だった。他方、50 歳代は目的に合わせて使い分けるとする割合が半数強になっており、現状のままでいいとする割合は他の年代に比べて低くなっている。オンラインは道具なので、目的に合わせて使い分けるとは当然である。経験を積んでいる年代ほど、使い分けるとする割合が高くなっていることは興味深い。

表11 会議・ミーティングの今後のあり方について (%)

	平均値	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
もっと対面を増やした方がいいと思う	7.8	7.9	8.4	4.8	10.5
もっとオンラインを増やした方がいいと思う	10.5	9.9	10.2	14.4	6.3
現状のままでいいと思う	36.2	42.1	37.3	33.0	31.5
目的に合わせて対面とオンラインを使い分けるとした方がいいと思う	45.3	39.5	44.0	47.8	51.0
その他	0.2	0.7	0.0	0.0	0.7

表 12 は、現在の会議の形式(問 9)と会議の形式に対する考え方(問 10)のクロス集計結果である。この表から次のことがわかる。

- ①ほとんど対面で会議・ミーティングが行われている人たちは、42.1%が目的に合わせて使い分けるとを望んでいる。
- ②オンラインが基本で対面がときどきある人たちは、目的に合わせて使い分けるとする割合が高い(47.8%)。
- ③ほとんどオンラインで会議・ミーティングを行っている人たちは、対面を増やしたいとは考えていない。

オンラインの会議・ミーティングに慣れた人たちは、オンラインを使いながら、目的に合わせて対面も適宜使っていくのがいいと考えていることがわかる。

表12 現在の会議の形式と会議の形式に対する考え方のクロス集計 (%)

	もっと 対面を 増やす	もっと オンライン を増やす	現状の ままでいい	目的に 合わせて 使い分ける	その他	合計	回答数 (件)
ほとんど対面で行われている	21.1	15.8	21.1	42.1	0.0	100.0	19
対面が基本だが、ときどきオンライン	9.2	23.9	31.2	35.8	0.0	100.0	109
オンラインを基本として、対面がときどき	8.3	9.7	33.8	47.8	0.4	100.0	506
ほとんどオンライン	5.4	6.1	44.1	44.4	0.0	100.0	261
合計	7.8	10.5	36.2	45.3	0.2	100.0	895

現在の会議・ミーティングのあり方についての考え方とその理由

表 13 は、現在の会議・ミーティングのあり方となぜそう考えるのかをクロスした結果である。もっと対面を増やした方がいいと考えている人は 70 人(全体の 7.8%)だが、その理由として最も多いのは「職場メンバー間の情報共有が不十分だと感じているから」(51.4%)であり、「何でもかんでもオンラインでやろうとしているように見えるから」(30.0%)がそれに続いている。

現状のままでいいと考えている 324 人がそのように考える理由として最も多いのは、「オンライン会議で十分な案件が多いから」(62.0%)である。他方、もっとオンラインを増やした方がいいと考えている 94 人は、「オンライン会議で十分な案件が多いから」(46.8%)と「時間の節約になるから」(44.7%)がほぼ同じ割合になっている。

表13 現在の会議・ミーティングのあり方とその理由のクロス集計計 (%)

	職場メンバー間の情報共有が不十分	時間の節約になるから	オンライン会議で十分な案件が多いから	何でもオンラインでやろうとしている	その他	合計	回答数
もっと対面を増やした方がいい	51.4	1.4	1.4	30.0	15.7	100.0	70
もっとオンラインを増やした方がいい	2.1	44.7	46.8	1.1	5.3	100.0	94
現状のままでいい	2.8	26.5	62.0	4.3	4.3	100.0	324
目的に合わせて対面とオンラインを使い分ける	18.8	18.5	24.4	23.7	14.6	100.0	405
その他	-	50.0	-	-	50.0	100.0	2
合計	13.7	22.9	38.5	14.7	10.1	100.0	895

新型コロナウイルス終息後の仕事場所について

表14は、新型コロナウイルス終息後の働く場所についての予想を、年代別にまとめたものである。各年代とも「週に1～2日程度テレワークをする」が第1位で、約3分の1になっている。第2位は年代によって異なり、20歳代と40歳代は「ほとんど出社するが月に数回程度テレワークをする」であり、30歳代と50歳代は「週に3～4日程度テレワークをする」になっている。

表14 コロナウイルス終息後の働く場所についての予想 (%)

	平均値	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
すべて出社する	9.2	17.1	7.7	6.7	8.4
ほとんど出社するが、月に数回程度テレワーク	20.3	22.4	18.9	21.5	20.3
週に1～2日程度テレワーク	34.6	37.5	32.5	39.2	30.8
週に3～4日程度テレワーク	19.6	10.5	23.0	15.8	25.2
ほとんどテレワークだが、月に数回程度出社	11.8	6.6	13.8	12.9	10.5
すべてテレワーク	0.2	0.7	0.3	0.0	0.0
決まっていない	2.9	3.3	2.8	2.4	3.5
わからない	1.3	2.0	1.0	1.4	1.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

では、望ましい働き方についてはどのように考えているのだろうか。表15が、その結果を年代別にまとめたものである。望ましい働き方については、各年代とも「週に1～2日程度テレワークをする」が第1位になっている。第2位は年代ごとに異なり、20歳代と50歳代は「出社を基本として、月に数回テレワーク」であり、30歳代は「週に3～4日程度テレワーク」、40歳代は「テレワークを基本として、月に数回程度出社」となっている。

すべてテレワークすることが望ましいと回答した人はごくわずかだが、「テレワークを基本として、月に数回程度出社することが望ましい」を選んだ人は15%前後になっている。

「すべてテレワークが望ましい」と「テレワークを基本として、月に数回程度出社することが望ましい」と回答した人を、「テレワーク中心でほとんど出社しない働き方を望んでいる人」と仮定すると、30歳代と40歳代では2割程度になっていることがわかる(平均値18.7%、20歳代15.2%、30歳代21.0%、40歳代20.1%、50歳代14.0%)。コロナ禍で普及したテレワークへの根強い期待が読み取れる結果である。

表15 望ましい働き方

(%)

	平均値	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
すべて出社することが望ましい	2.8	4.6	2.8	1.0	3.5
出社を基本として、月に数回程度テレワークをすることが望ましい	19.1	21.7	17.1	16.3	25.9
週に1～2日程度テレワークをすることが望ましい	35.5	41.4	32.7	41.1	28.7
週に3～4日程度テレワークをすることが望ましい	20.8	15.1	24.0	15.3	25.9
テレワークを基本として、月に数回程度出社することが望ましい	16.9	14.5	17.9	18.7	14.0
すべてテレワークをすることが望ましい	1.8	0.7	3.1	1.4	0.0
わからない	3.1	2.0	2.3	6.2	2.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0